

ソーシャルワーク入門

[講義] 第1学年 通年 必修 2単位

【担当者名】○片山 寛信 katayama@hoku-iryo-u.ac.jp 巻 康弘 宮本 雅央 近藤 尚也 鈴木 和

【概要】

社会福祉実践について、ソーシャルワーク入門実習（2日間）、各領域の特別講師の講話、実習報告会等を通して福祉実践のイメージを深める。

【学修目標】

1. 社会福祉施設をイメージすることができる。
2. 福祉サービスを活用する利用者の特性を理解する。
3. 福祉現場で働く職員の業務内容を理解する。
4. 福祉の実践現場の概要が説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	全体指導	オリエンテーション ・受講上の諸注意，授業計画，ソーシャルワーク入門実習等について理解する ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・指導教員を知る ・実習先の候補施設・機関の名称を知る ・個人票の書き方について理解する ・実習取り組みの基本知識を確認する	片山・巻・宮本・近藤・鈴木
2	全体指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・実習の配属先について説明できる ・実習日誌の書き方を説明できる	片山
3	グループ指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・実習先施設・機関，利用者の特徴や実習内容について理解する（医療・精神・障害・高齢・児童） ・実習生としてのマナーを身につける ・事前連絡に必要な態度を理解する ・電話のかけ方を理解し実践できる	片山・巻・宮本・近藤・鈴木
4	グループ指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・実習先分野・施設・機関の概要（職員・利用者、事業内容等）を理解する ・実習で学ぶ自己課題を説明できる ・実習日誌を記載することができる	片山・巻・宮本・近藤・鈴木
5	グループ指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・実習先分野・施設・機関の概要（職員・利用者、事業内容等）を理解する ・実習に必要な記録の種類や方法を理解し、記録をまとめることができる	片山・巻・宮本・近藤・鈴木
6	グループ指導	ソーシャルワーク入門実習の事前学習 ・実習中の注意事項、実習後の提出物について理解する ・自分の実習課題を学生同士で説明することができる ・お礼状の意味と書き方について理解し、準備できる	片山・巻・宮本・近藤・鈴木
7 8	ソーシャルワーク入門実習 (8月)	(2日間) ・施設・機関の概要（職員・利用者・事業内容等）を学び、利用者と関わりをもつことができる	片山・巻・宮本・近藤・鈴木
9	グループ指導	・ソーシャルワーク入門実習の振り返りを行い、実習体験を共有することができる。	片山・巻・宮本・近藤・鈴木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・お礼状や提出物を確認し、グループ指導や報告会に向けて取り組むべきことについて理解し、実践することができる。	
10	グループ指導	・ソーシャルワーク入門実習の事後学習 ・実習を行った施設・機関の概要（職員・利用者・事業内容）を説明できる ・今後の学習課題を見出し、意見交換することができる	片山・巻・宮本・近藤・鈴木
11	外部講師	・社会福祉実践を当事者の語りから学び、感想や学んだ内容をまとめることができる	片山 米田 幸代（特別講師）
12	外部講師	・社会福祉実践をソーシャルワーカーの語りから学び、感想や学んだ内容をまとめることができる	片山 （特別講師）
13	グループ指導	・実習報告会に向けてプレゼン資料の作成など、グループで話し合いながら発表の準備を行うことができる	片山・巻・宮本・近藤・鈴木
14	ソーシャルワーク入門実習報告会	・ソーシャルワーク入門実習報告会 ・プレゼンテーションに必要な技術、実習の成果について理解を深め、今後に活用することができる	片山
15	まとめ	・ソーシャルワーク入門実習の振り返りを行い、実習体験を共有することができる。（ワールドカフェ方式） ・1年間の学習内容を整理し、感想や今後の課題について意見交換することができる ・ソーシャルワーク実習の概要を理解し、説明することができる	片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

ソーシャルワーク入門実習関連の提出物：50%

特別講師レポート：20%

講義参加態度：全体10%・グループ20%

【教科書】

現代社会福祉用語の基礎知識 - 第13版 成清 美治 編集代表 加納 光子 編集代表 学文社

【参考書】

その他、必要に応じて提示する。

【備考】

この科目は、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「社会福祉学（職業指導を含む。）」に該当する。

【学修の準備】

予習（2時間）

シラバスに示されている内容について、事前にインターネットや文献を用いて調べる。

不明点や質問について、まとめておく。

復習（2時間）

授業等で出てきた専門用語の意味について、インターネットや辞書等で調べ理解を深める。

疑問や質問がある場合は、教員に質問をする。

実習や特別講師の講義時は下記について、予習・復習で行う。

実習先についてインターネットや教科書などで調べ理解を深める。

特別講師の話を聞いて、関連する施設・機関についてインターネットや文献などで調べ理解を深める。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実

践的能力を身につけている。

【ソーシャルワーク入門実習について】

2日間の実習参加にあたっては、事前のグループ指導への出席を原則必須とする。
やむを得ない事情を除き、学生都合による実習先の再調整は原則実施できない。

【実務経験】

片山 寛信（社会福祉士）、巻 康弘（社会福祉士）、宮本 雅央（社会福祉士・精神保健福祉士）・近藤 尚也（社会福祉士）、鈴木 和（精神保健福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士、精神保健福祉士としてソーシャルワーカーの実務経験を活かし、各専門領域の特徴、業務、魅力を講義する。